

都市構造可視化計画サイトの活用

～オープンデータや他のツールを用いた
可視化サイトの活用について～



静岡県 掛川市 都市政策課

1.はじめに（研修参加の目的）

【現状】

- 掛川市では、『多極ネットワーク型コンパクトシティ』を目指すため平成30年3月に「掛川市立地適正化計画」を策定（同年8月に公表）し、緩やかに都市機能や居住を誘導を図っている。
- これからの市職員は、証拠・根拠（エビデンス）に基づいた市の施策立案が必要となっている。
- 高度成長期を経験している市民は、少子高齢化・人口減少社会の実感に乏しく、口頭説明では危機感を伝えるのが困難である。

【構造可視化計画サイトの利点】

- 課題の把握、政策立案、合意形成のために活用できる有力なツール

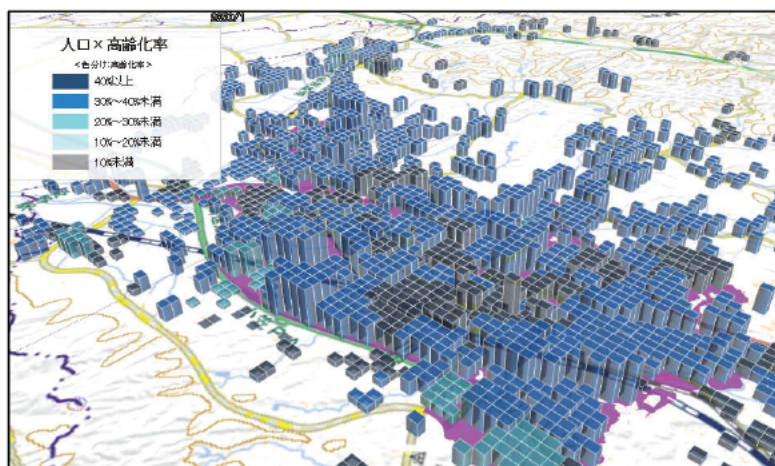


統計データ等を用いて都市構造を可視化し、客観的に都市の課題を考え、施策立案に活かすため、研修に参加した。

2. 都市政策課にて反応確認

立地適正化計画にて設定した「居住誘導区域データ」を『構造可視化計画サイト』に反映させ、将来の人口と高齢化率の経年変化を重ねて、現状と今後の見通しを課内の職員と確認した。

居住誘導区域内の人口分布



補注：都市構造可視化計画、地理院地図を使用



3. 庁内での活用①（将来ビジョン検討会にて活用）

第2次掛川市総合計画改定作業と併せて実施された、10年後、20年後の社会変化及び掛川市の状況をシミュレーションし、市の将来を検討する『将来ビジョン検討会』にて、都市構造可視化計画の紹介と実演を行った。



4. オープンデータや他のツールからのデータ取得

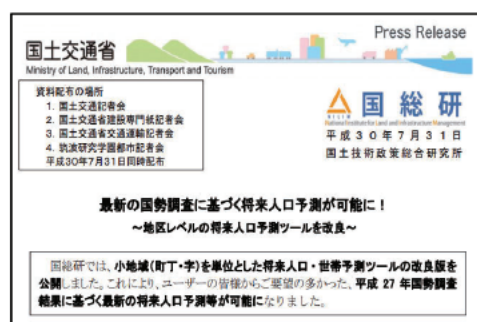
国土数値情報ダウンロードサービスより、「公共施設」「バス停」「バスルート」「自治会区」のGISデータを取得。

その後、都市構造可視化データに活用した。



将来人口予測ツールを利用し、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の予測結果を100mメッシュデータ化。

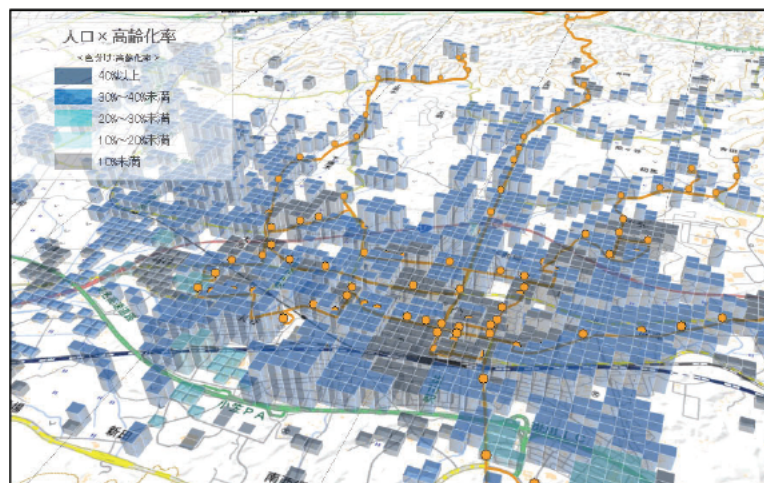
その後、都市構造可視化データに活用した。



5. 庁内での活用②（地域交通担当部署での活用）

オープンデータや他のツールで得たデータを『都市構造可視化計画サイト』に反映させ、地域交通担当部署と将来の人口予測や高齢化率をバスルートの再編検討に活用した。

地域交通（バス）と人口分布



補注：都市構造可視化計画、地理院地図を使用



6.まとめ

- 庁内にて策定された各計画では作成された図面データは、シェープファイル等にて蓄積されているが、部署を超えての活用があまりされていない。
- 庁内には、費用を掛けてGISソフトが導入されているが、閲覧以上（データ作成など）に活用できている職員は少ない。
- 各種統計資料は、データとしてオープン化の流れであり、活用可能なデータは日々増加している。
- 都市計画分野においても、都市計画基礎調査等の活用可能なデータは多い。

➡ GISソフトを活用できる職員を育成し、エクセルデータ等で管理している分野の異なるデータやオープン化されている統計データを構造可視化すれば、根拠ある市の施策立案や市民への説明会に活用できると実感しました。

i-都市交流会議2020

7

静岡県 掛川市

掛川市は、東経138度、北緯34度45分とほぼ日本の真ん中に位置します。
静岡県においては、西部と中部の接するところにあり、東海道新幹線掛川駅は、静岡駅と浜松駅の間にあります。



刻まれる歴史が誇りになる 掛川市



茶のみやきんじろう

11月8日（いい葉の日）生まれ
身長：118cm 体重：秘密
生まれも育ちも掛川市
報徳のまち掛川ゆかりの二宮金次郎を
モチーフに、掛川茶のことが書かれた
本を持ち、絶えず研究している男の子
頭と本には、お茶の新芽「一芯二葉
（いっしんによう）」がデザイン
深蒸し掛川茶をイメージした緑色の
着物を着ています



掛川市公式キャラクター「茶のみやきんじろう」
© 掛川市

i-都市交流会議2020

8